

御田小 研究だより

令和元年 11月19日
港区立御田小学校
校長 濱尾 敏恵

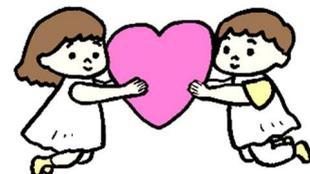
御田小学校では、今年度「人権教育」をテーマに校内研究を行っています。

中学年の人権教育目標

- ★自分のよさに気付き、相手のよさや違いを受け入れられる。
- ★友達や様々な立場の人を大切にしながら、思いやりをもって行動する。

第4回 研究授業報告

10月30日(水) 4年2組 授業者 末永 稜
総合的な学習の時間「みんなと心をつなぐには」



- 【授業のねらい】
- 自分たちで調べたことや実践したことを発表し合う。
 - 障害者の立場に立ち、自分にできることを考える。

【人権教育の視点】障害者との出会いや交流・体験、調べ学習を通して障害を乗り越えながら社会の一員として生きていく姿に共感するとともに、障害のある方とともに生きていくことができるように、自分たちができることを考え、実践しようとする態度を育む。

【授業の工夫】

体験活動の充実・かかわり合い

盲導犬協会の方や視覚障害者（盲導犬ユーザー）による盲導犬キャラバン、ふれあい講習会（手話・点字体験）を設定し、実体験を通して意欲的に学べるようにしました。



子供の興味・関心を引き出す工夫

体験を通して、学習課題を児童が考え、調べ方や発表方法を選択できるようにし、主体的に取り組むことができるようにしました。

学びの実感をもたせる工夫

調べたことや実践したことを発表し合った後、互いの活動のよさをワークシートに書き、交流しました。



〈授業を終えて〉

今回の学習では、様々な人と出会い、話を聞いたり、体験したりする活動を多く行いました。その中で、「盲導犬受け入れポスターを地域のお店に貼り、知らせたい。」「手話を1年生や地域の人に教えたい。」「耳の聞こえない方と手話でコミュニケーションをとりたい。」など、自分たちにできることを考え、実践しました。活動後は、グループごとに活動内容や感じたことを学級の中で発表し合いました。

子供たちは、障害に対する正しい理解と認識を深め、誰もが気持ちよく過ごせるように自分たちにできることを考えて行動していこうという気持ちをもつことができました。